



平成23年度京都地区ユニバーサル社会に対応した 歩行者移動支援に関する現地事業成果報告

京都フラワーツーリズム推進協議会

概要

- 小さな子連れ旅行者や外国人旅行者を対象に、京都嵐山地区、宇治地区で音声ガイド情報、寺社や博物館等のトイレ、緊急時医療機関、授乳室、観光施設の位置情報の提供と経路案内を提供
- 京都地区では、地域情報発信のアプリケーションとして他地区へ展開が容易にできる設計で作成されている。システム運営の維持費用を確保のため、システム利用団体を広く募集

移動支援サービス(ご当地なび)の概要



【提供サービス】

- ・**バリアフリー情報提供**
経路上のバリア情報(段差、急傾斜)を案内
車イス対応、オストメイト対応、ベビーチェアの有無が分かるトイレ情報を満載
- ・**まち歩きモバイルガイド**
多言語で道路情報、観光ガイド、駅到着を音声案内
- ・**観光情報提供**
観光情報、イベント情報、緊急医療機関情報 等
- ・**交通情報**
- ・**防災情報**
- ・**安心情報: 医療期間の情報**

移動支援システムについて（1）

①位置特定技術

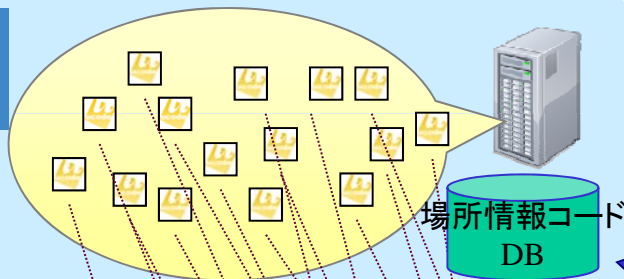
GPSやWi-Fiを利用

無線LAN
(Wi-Fi)



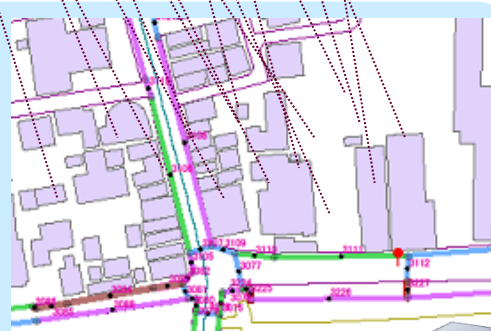
②場所情報コード

論理的な場所を示す場所情報コード



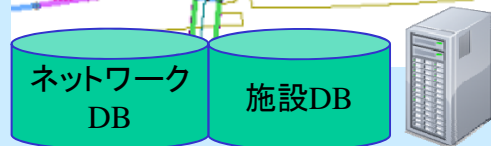
③歩行空間ネットワークデータ

宇治エリア5kmを整備



④施設データ

公共施設やトイレ等の施設データ



受信

⑤携帯情報端末

場所情報コードを基に「バリアー情報」を音声でガイドする。
離れた家族の位置情報、経路案内、トイレや緊急時医療機関情報、子連れ観光施設情報などを表示。
携帯端末は、iPhone/iPadを利用している。



位置情報を基に場所情報コードを問合せ

⑥アプリケーション・サービス

場所情報コードや個人属性に応じたサービスを問合せ

ナビゲーションサービス等

場所情報コード、歩行空間ネットワークデータ、施設データなどの情報を利用し、提供する情報を解析
(主な機能)
バリアー情報、音声ガイド、経路案内、トイレや緊急時医療機関情報、防災情報、観光施設情報



移動支援システムについて（2）

・位置特定について

使用した位置特定技術：GPS、Wi-Fi

位置特定精度：最小5m程度

・情報提供について

使用した携帯端末：iPhone／iPad

情報提供の方法：アプリとして提供

（Appleストアから「ご当地なび」アプリをダウンロードすれば、
誰でも無料で利用可能）

・歩行空間NWDについて

歩行空間ネットワークデータ整備仕様案（平成22年9月国土交通省）に基づく。

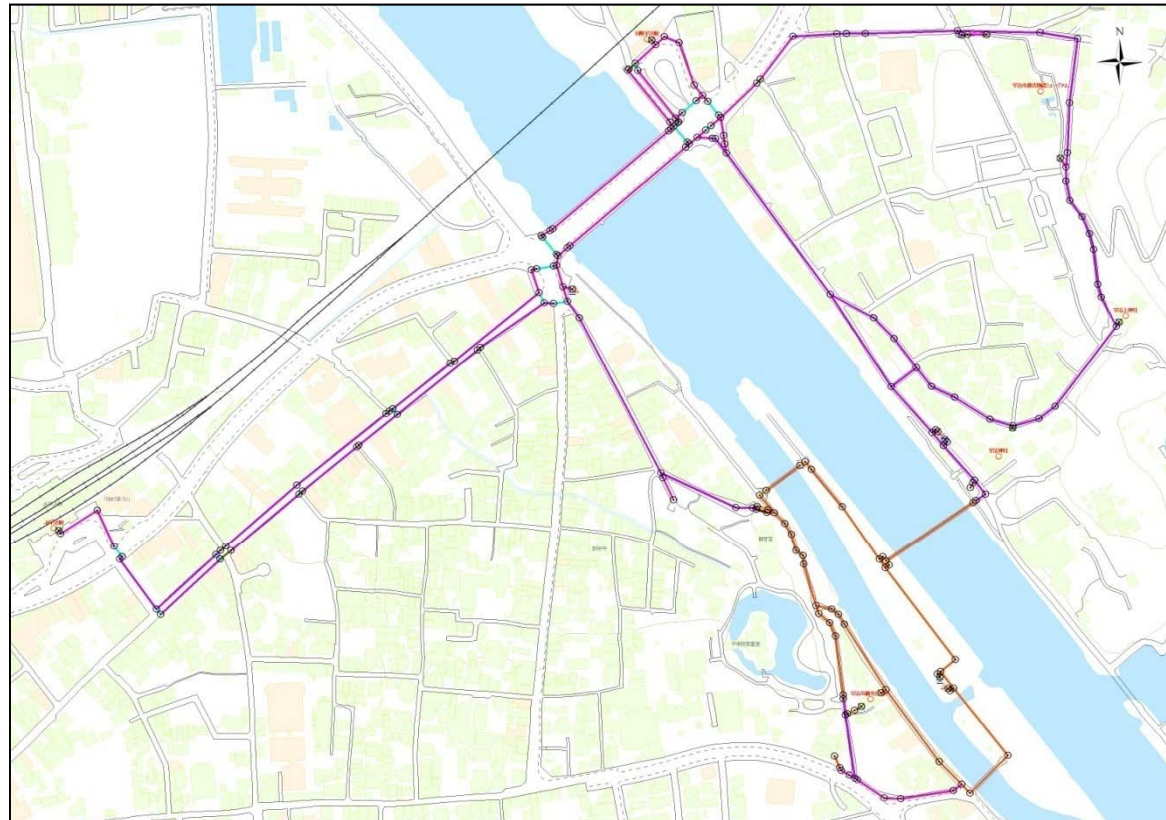
移動支援システムについて（3）

●NWD整備箇所（宇治エリア）

- ・整備延長 ⇒ 5.0km
- ・リンク情報 ⇒ ライン:204ライン
(縦断勾配、横断勾配、バス停、信号の情報⇒110点)
- ・ノード情報 ⇒ 点:189点
- ・施設情報 ⇒ 6点
- ・トイレ情報 ⇒ 6点
- ・出入口情報 ⇒ 13点

リンク情報(経路の種類)

- 1: 歩道
- 2: 歩行者専用道
- 4: 歩車道共存道路
- 5: 横断歩道
- 6: 横断歩道の路面表示がない交差点
- 12: 階段
- 13: スロープ
- 6 ノード情報
- (公共施設情報
- ♂ トイレ情報(男)
- ♀ トイレ情報(女)
- D 出入口情報



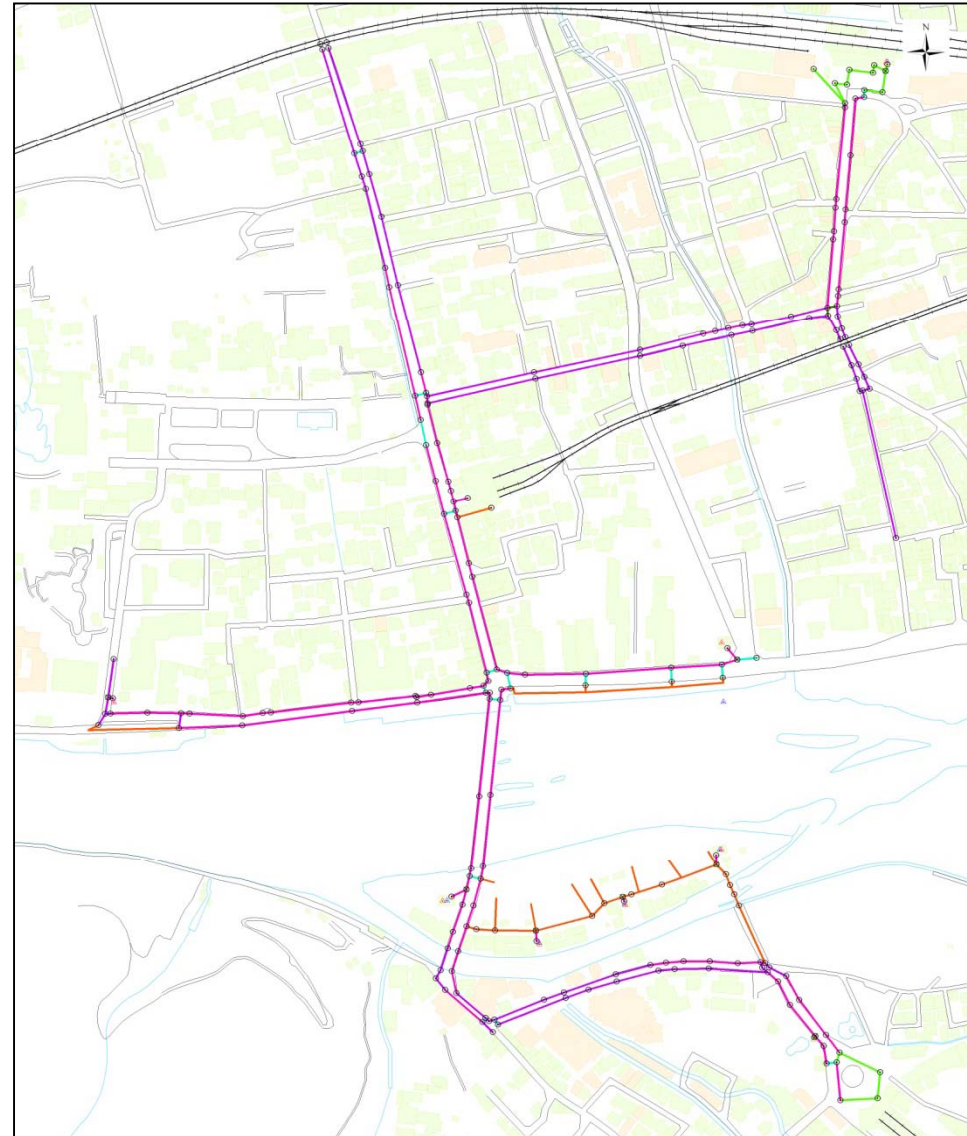
移動支援システムについて（４）

●NWD整備箇所（嵐山エリア）

- ・整備延長 ⇒ 6.2km
- ・リンク情報 ⇒ ライン:241ライン
(縦断勾配、横断勾配、
バス停、信号の情報⇒86点)
- ・ノード情報 ⇒ 点:224点
- ・トイレ情報 ⇒ 15点
- ・出入口情報 ⇒ 8点

リンク情報(経路の種類)

- 1: 歩道
- 2: 歩行者専用道
- 4: 歩車道共存道路
- 5: 横断歩道
- 6: 横断歩道の路面表示がない交差点
- 8: 自由通路
- 12: 階段
- 13: スロープ
- 6 ノード情報
- ♂ トイレ情報(男)
- ♀ トイレ情報(女)
- ♂ トイレ情報(共用)
- 出入口情報



歩行空間ネットワークデータの編集（1）

●歩行空間ネットワークデータ編集工程

1. 現地調査

- ・歩行空間ネットワーク情報、施設情報を調査
- ・現地調査にてバリアとなる箇所の写真を撮影

2. 歩行空間ネットワークデータ整備

- ・現地調査にて取得した情報よりネットワークデータ及び施設データを整備

3. バリア情報の抽出

- ・バリアと判断する基準を設け、歩行空間ネットワークデータよりバリア情報を抽出

4. バリア情報の登録

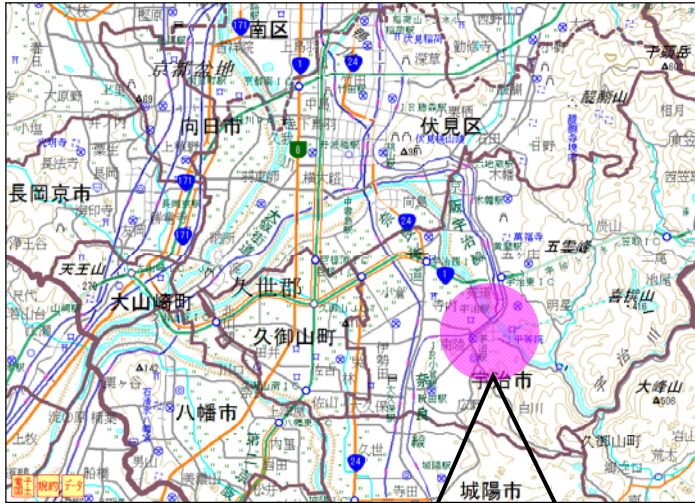
- ・歩行空間ネットワークデータより抽出したバリア情報と現地写真を「ご当地なび」へ登録

5. バリア情報の位置編集

- ・バリアの区間延長や種別にあわせたバリア情報の位置編集

歩行空間ネットワークデータの編集（2）

1. 現地調査（宇治エリアの例）



- 歩行空間ネットワーク情報、施設情報を調査
歩行空間ネットワークデータ整備仕様案(国土交通省 平成22年9月)に基づき、現地調査にて以下の項目を確認

経路の種類	通行制限の有無	有効幅員	縦断勾配
横断勾配	路面状況	段差	側溝・水路の蓋の有無
バス停の有無	信号の有無	公共施設(出入口)	公共用トイレ

- 歩行空間ネットワークデータ整備仕様案(国土交通省 平成22年9月)の項目になく、バリア情報として必要となる項目についても確認

車止めの有無	交通量	休憩施設(ベンチ等)
--------	-----	------------



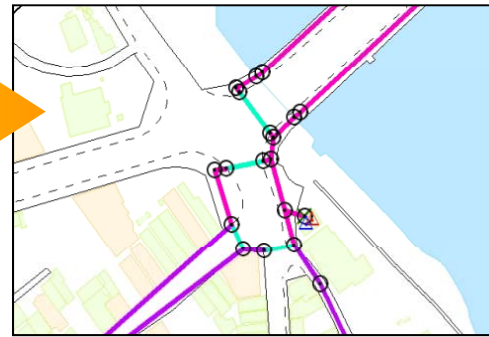
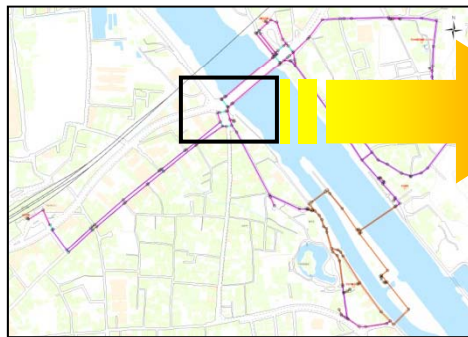
- 現地調査にてバリアとなる箇所の写真を撮影
ネットワーク情報、施設情報の調査と同時に「ご当地なび」に登録するバリアとなる箇所の写真を撮影



歩行空間ネットワークデータの編集 (3)

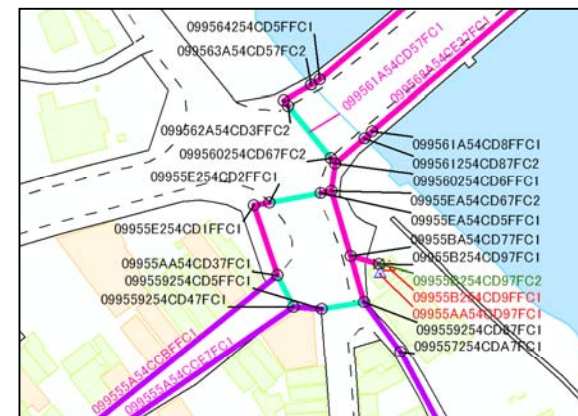
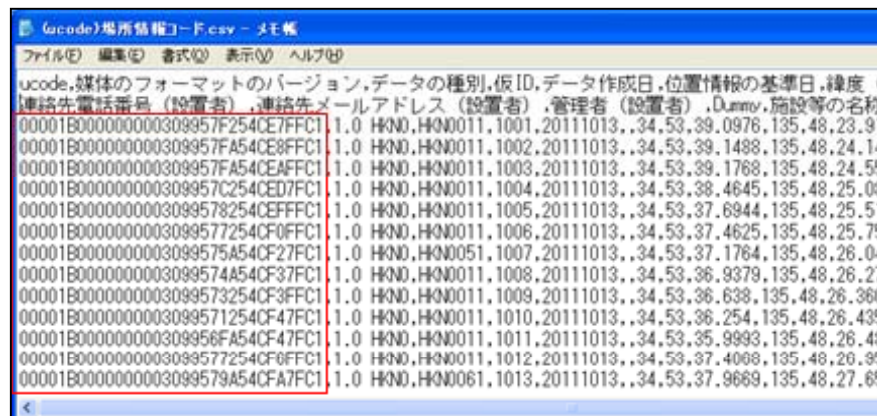
2. 歩行空間ネットワークデータを整備(宇治エリアの例)

- 歩行空間ネットワークデータ整備仕様案(国土交通省 平成22年9月)に基づき、現地調査結果からリンク情報、ノード情報、公共施設の情報、公共用トイレの情報、出入口情報を整備



リンク情報(経路の種類)	ノード情報
1: 歩道	(公共施設情報
2: 歩行者専用道	o トイレ情報(男)
4: 歩車道共存道路	o トイレ情報(女)
5: 横断歩道	D 出入口情報
6: 横断歩道の路面	
表示がない交差点	
12: 階段	
13: スロープ	

- 申請により取得した場所コード(ucode)を整備した歩行空間ネットワークデータに付与

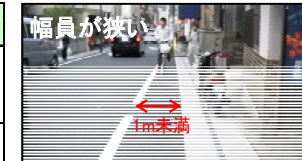


※上図ではID上位16桁が同一コード(00001B0000000003)のため省略して表示

歩行空間ネットワークデータの編集（4）

3. 下記表に基づいてバリア情報を抽出

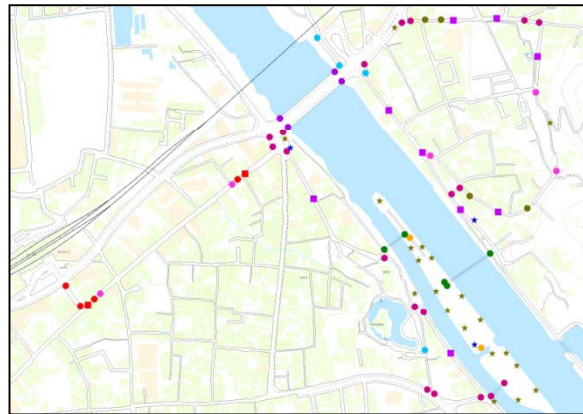
種別	マーカー	基準	歩行空間ネットワークデータより抽出		音声案内
			基準	対象データ	
1 幅員が狭い		有効幅員(通行範囲)が1m未満	有効幅員が1m未満 (有効幅員コード【0:1.0m未満】を抽出)	リンク情報	通行する幅が狭くなっています。ご注意ください。
2 路面状況		砂利道	路面状況が砂利 (路面状況コード【2:砂利】を抽出)	リンク情報	砂利道となっています。足元にご確認ください。
3 側溝蓋なし		側溝に蓋がない	側溝に蓋がない通路 (蓋のない溝、水路の有無コードが【0:なし】を抽出)	リンク情報	道路の端に蓋のない溝があります。ご注意ください。
4 車止め		道路上に車止めがある箇所	現地調査にて取得 (歩行空間ネットワークデータでは、車止めや電柱等の局所的な狭さは有効幅員1.0m未満と判断されるため、『幅員が狭い』に含まれる)	-	車止めがあります。ご注意ください。
5 段差		段差が2cm以上	2cm以上の段差 (段差コードが【1:2~5cm、2.5~10cm、3:10cm以上】を抽出)	リンク情報	段差があります。ご注意ください。
6 階段		階段のため車いすでの通行は不可	経路の種類が階段 (経路の種類が【12:階段】を抽出)	リンク情報	階段があります。
7 急傾斜		縦断勾配が5%を超える急な坂道 (水平1mに対して垂直に5cm上がる坂道)	縦断勾配が5%を超える傾斜 (縦断勾配1が【5%を超える】通路を抽出)	リンク情報	急な坂道となっています。ご注意ください。
8 緩傾斜		縦断勾配が3~5%で距離が長い坂道 (水平1mに対して垂直に3cm~5cm上がる坂道)	縦断勾配が3~5%で距離が300m以上ある傾斜(縦断勾配1が【3~5%】、リンク延長が【300m以上】を抽出)	リンク情報	緩やかな坂道が続きます。
9 傾斜		縦断勾配が5%を超える歩道や橋のすりつけ部 (水平1mに対して垂直に5cm上がるすりつけ部)	歩行空間ネットワークデータでの抽出不可 (急傾斜にて抽出した結果より目視にてすりつけ部を判断する必要がある)	-	傾斜となっています。足元にご確認ください。
10 車両交通が多い		現地にて交通量を判断	現地調査にて取得 (調査時に歩道がなく交通量が多い道路を判断)	-	通行車両が多い道路です。ご注意ください。
11 通行車両あり		現地にて判断通行車両の有無を判断	現地調査にて取得 (調査時に歩道がなく車両がある道路を判断)	-	通行車両にはご注意ください。
12 多目的トイレ		男・女・多目的トイレがある	多目的トイレがある (多目的トイレコード【1:あり(オストメイト対応なし)、2:あり(オストメイト対応あり)】を抽出)	施設情報 公共用トイレ	車いすの方が利用できるトイレがあります。
13 休憩施設		ベンチが設置されている	現地調査にて取得 (調査時にベンチを確認)	-	ベンチがあります。



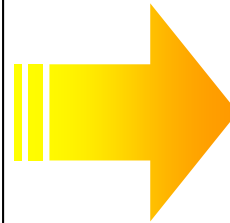
歩行空間ネットワークデータの編集 (5)

4. バリア情報を「ご当地なび」へ登録

(1) 歩行空間ネットワークデータより抽出したバリア情報にコメント、写真を付与したCSVファイルを作成

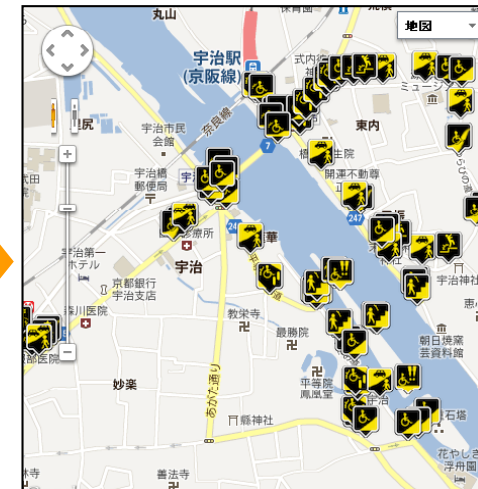
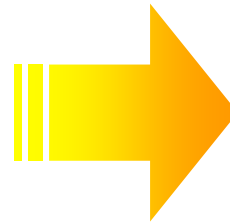


- バリア情報
- ! 1: 幅員が狭い
 - ! 2: 路面状況
 - ! 3: 側溝蓋なし
 - ! 4: 車止め
 - ! 5: 段差
 - ! 6: 階段
 - ! 7: 急傾斜
 - ! 8: 緩傾斜
 - ! 9: 傾斜
 - ! 10: 交通量が多い
 - ! 11: 通行車両あり
 - ! 12: 多目的トイレ
 - ! 13: 休憩施設



ID	種別コード	コメント	写真	経度	緯度
2	1	4車止めの(間隔5m)がある。	U0001.jpg	34.8939853	135.8063792
3	2	9 傾斜となっている。	U0002.jpg	34.8939506	135.8064931
4	3	4車止めの(間隔2m)がある。	U0003.jpg	34.8935374	135.8068203
5	4	9 傾斜となっている。	U0004.jpg	34.8939401	135.8068322
6	5	4車止めの(間隔4m)がある。	U0005.jpg	34.89341045	135.8079425
7	6	7 傾斜となっている。	U0006.jpg	34.89364664	135.8073962
8	7	4車止めの(間隔5m)がある。(面都市場駐車場出入口)	U0007.jpg	34.89373215	135.8075084
9	8	4歩道部と車道交差点に車止めが設置されている。	U0008.jpg	34.89387352	135.8076753
10	9	7 傾斜となっている。	U0009.jpg	34.89400053	135.8078027
11	10	4車止めの(間隔2m)がある。	U0010.jpg	34.89409939	135.8078991
12	11	4車止めの(間隔5m)がある。	U0011.jpg	34.8942344	135.8080333
13	12	7 傾斜となっている。	U0012.jpg	34.89426202	135.8082369
14	13	3 側溝に蓋がない。	U0013.jpg	34.89429017	135.8085997
15	14	11 通行車両あり。	U0014.jpg	34.89427267	135.8089438
16	15	11 通行車両あり。	U0015.jpg	34.89430484	135.8089406
17	16	7かなり急な傾斜がある。	U0016.jpg	34.89425564	135.8106549
18	17	11 通行車両あり。	U0017.jpg	34.89368534	135.8107685
19	18	8 長く緩やかな傾斜となっている。	U0018.jpg	34.89232129	135.8110395

(2) 作成したCSVファイルを「ご当地なび」へ登録



歩行空間ネットワークデータの編集 (6)

5. バリア情報の位置編集

(1) 背景地図に合わせた登録位置の微調整

歩行空間ネットワークデータは国土地理院の基盤地図情報、ご当地ナビではGoogleマップを背景地図として使用

各背景地図の精度誤差により歩行空間ネットワークデータから抽出したバリア情報の位置にズレが生じる場合があるため、ご当地ナビ上で登録位置を微調整する必要があります



歩行空間ネットワークデータの編集 (7)

(2) バリア対象区間が10m以上の場合の位置編集

●対象種別

幅員が狭い、路面状況、側溝蓋なし、急傾斜、緩傾斜車両交通量が多い、通行車両あり
 ※階段等で10m以上ある場合も含まれる

●登録ルール

- 1) 該当する区間の両側にバリア情報を登録
 → 区間の両側にバリア情報を登録することで進行方向に関係なく情報を得ることができる
- 2) 同一区間内に複数のバリア情報が存在する場合はポイント間隔を10m以上あけて登録
 → ポイント間隔を10m以上あけることによりスムーズに音声案内を聞くことができる
- 3) 区間の両端からバリアの優先順位が高い(最も障害となる情報)順に登録
 → 区間の外側から順に優先度の高い情報を登録することにより最も障害となる情報をすぐに取り得ることができる

種別名
急傾斜
車両交通量が多い
段差
側溝蓋なし
幅員が狭い
車止め
緩傾斜
傾斜
通行車両あり
路面状況
階段

※優先順位

車いすやベビーカーでの通行を対象に困難なバリア情報を高く設定
 階段は走行不可なバリア情報のため、優先順位を低く設定



歩行空間ネットワークデータの編集 (8)

例1: 種別に合わせたバリア情報の位置編集

該当する通路の両側から情報を得ることができるように、通路の両端に情報を登録



区間の両端に
バリア情報を登録

幅員が
狭い



例2: 1箇所に複数存在するバリア情報の位置編集

音声案内の検出エリアが半径10mのため、ポイント間隔を10m以上あけて登録



ポイント間隔を10m以上で登録

《音声案内》

- ◀ 緩やかな坂道が続きます。
- ◀ 通行する幅が狭くなっています。ご注意ください。
- ◀ 通行車両が多い道路です。ご注意ください。

歩行空間ネットワークデータの編集 (9)

(3) バリア対象が10m未満の区間(ピンポイント)の位置編集

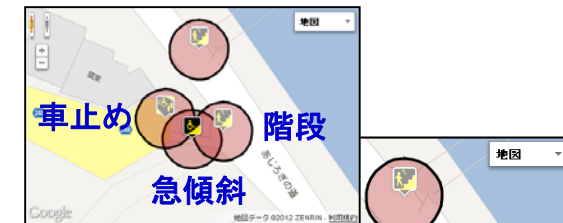
●対象種別

車止め、段差、階段、傾斜、多目的トイレ、休憩施設
 ※10m未満の区間に該当するバリアはピンポイントに含まれる

●登録ルール

- 1) 上り階段は遠くからでも視覚的に判断できるが、下り階段は上りに比べ判断しにくく、落下等の危険性があるため最上位階段にバリア情報を登録
 →下り階段の手前で音声案内され、事前に把握できる
- 2) 1箇所に複数存在する場合は優先順位が高い(最も障害となる情報)バリア情報のみを登録
 →複数の音声案内による混乱を防ぎ、最も危険な音声案内のみを把握できる
- 3) 該当するバリア情報の中心位置を登録
 →区間が短いためバリアとなる範囲はシステムの位置検出エリアでカバーされる

種別名
急傾斜
車両交通量が多い
段差
側溝蓋なし
幅員が狭い
車止め
緩傾斜
傾斜
通行車両あり
路面状況
階段



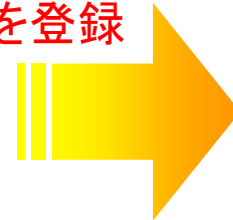
歩行空間ネットワークデータの編集（10）

例1：種別に合わせたバリア情報の位置編集

該当する構造物の中心、もしくは危険度が高い位置に1点のみ登録



危険度が高い位置
(この例では階段の
上部エッジ)にバリア
情報を登録



例2：1箇所に複数存在するバリア情報の位置編集

バリアの優先順位が高い(最も障害となる情報)を登録



最も障害となる急傾斜を
バリア情報として登録



種別名
急傾斜
車両交通量が多い
段差
側溝蓋なし
幅員が狭い
車止め
緩傾斜
傾斜
通行車両あり
路面状況
階段

●「宇治なび」の特徴

・充実したバリアフリー情報を案内

- －総延長4kmに渡る宇治公園周辺の観光道路上の階段、急な坂道、緩やかな坂道、幅員などの情報
- －車椅子・オストメイト対応、ベビーチェアの有無が分かるトイレ情報を満載

・まち歩きモバイルガイド

- －観光ガイドや道路情報を音声案内

・防災情報

- －天ヶ瀬ダム放水量による宇治公園立ち入り禁止情報の提供

・観光情報

- －現在地や主要な観光スポットから、簡単に観光情報の検索や経路案内をします。
- －今咲いている花情報、イベント、歳時記、観光施設、ミュージアム、土産物、グルメ、宿泊、仏像、庭園、建築など。

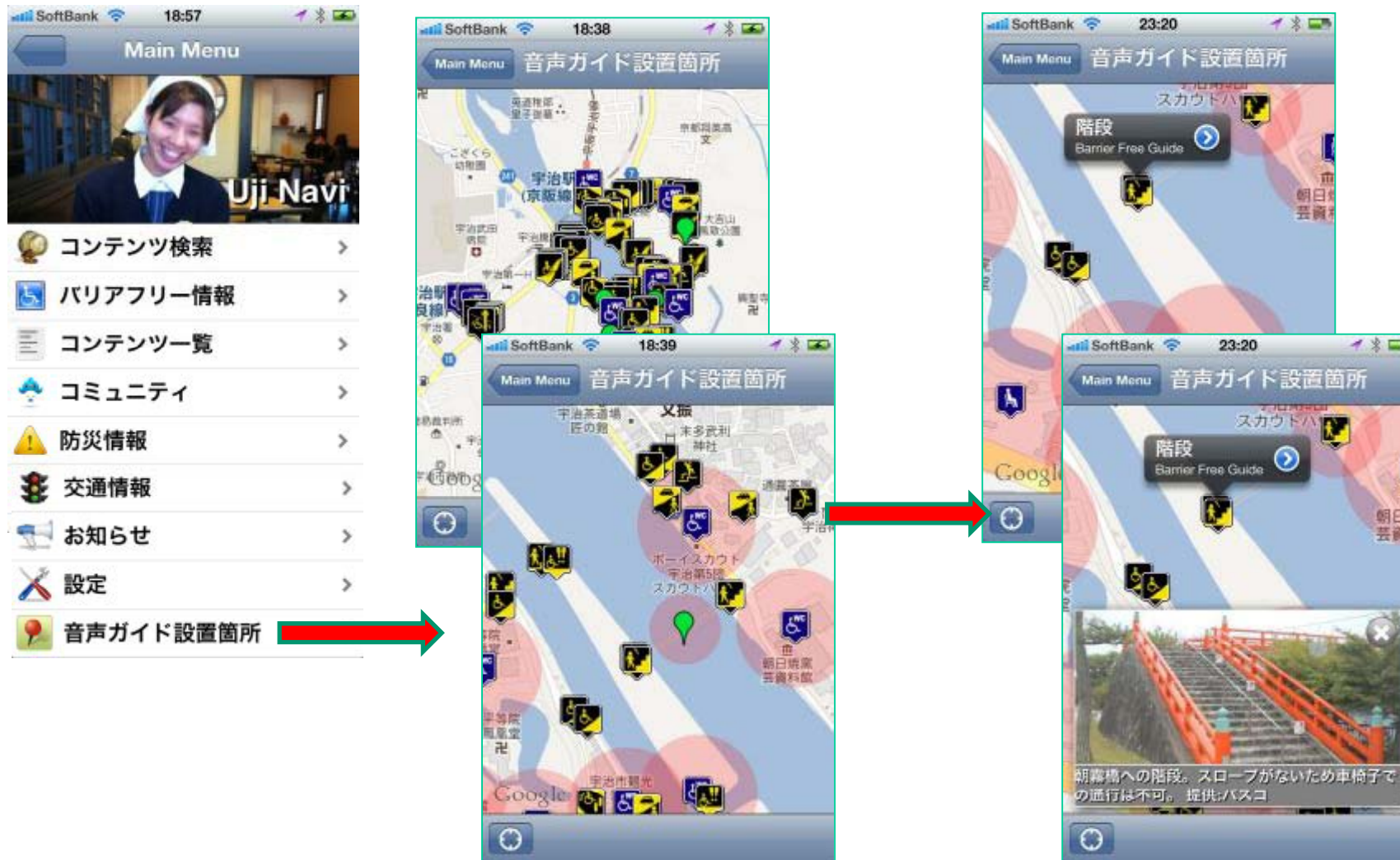
・交通情報

・安心情報：緊急医療機関の情報

移動支援サービス内容（2）

まち歩きモバイルガイド（1）

●経路上のバリア情報の提供とナビゲーション



移動支援サービス内容（3）

まち歩きモバイルガイド（2）

- バリア情報(階段、急な坂道、交通量など)を多国語で案内
英語、韓国語、中国語、日本語に対応



移動支援サービス内容（４）

まち歩きモバイルガイド（３）

●音声観光ガイドと連携

京都フリーウォーク(京都市観光協会)などの音声観光ガイドを
その舞台に近づくとストリーミング配信



移動支援サービス内容（5）

まち歩きモバイルガイド（4）

● 駅なび

駅に近づくとメロディ(汽車汽車シュッポッポ)とプッシュ(多言語)で案内



移動支援サービス内容（6）

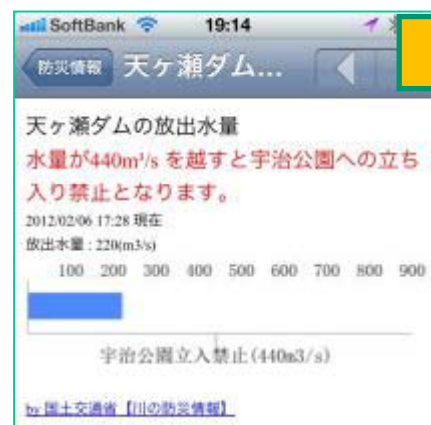
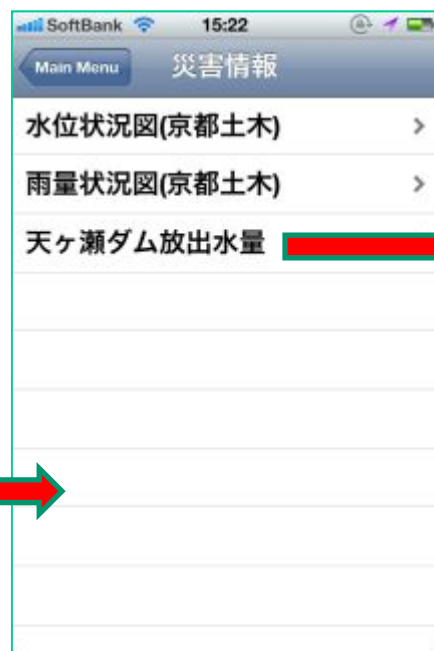
バリアフリー情報



移動支援サービス内容（7）

防災情報：「宇治なび」の例

- 宇治公園立ち入り禁止情報
天ヶ瀬ダム放水量による
宇治公園立ち入り禁止情報の
提供と迂回ルートのご案内



移動支援サービス内容（8）

観光情報（1）



移動支援サービス内容（9）

観光情報（2）



SoftBank 22:58

観光情報 琴きき茶屋

観光情報 琴きき茶屋

赤いちょうちんが目印! Photo2

詳細

場所 琴きき茶屋

カナ コトキキチャヤ

種別 食べる

カテゴリ 飲食店

サブカテゴリー 桜餅

住所 616-8385 京都市右京区渡月橋北詰西角

電話番号 075-861-0184

ホームページ <http://www.kyoto-arashiyama.com/koten/koten-kotokiki.html>

SoftBank 22:59

観光情報 琴きき茶屋

営業時間 10:00~17:00

コメント

〔桜もち〕 餡の入っていない白い「道明寺餅」を塩漬にした二枚の桜の葉で挟んだものとし餡でくるんで嵐山を型どったものがある。桜の葉の風味と餅の甘味バランスが絶妙。

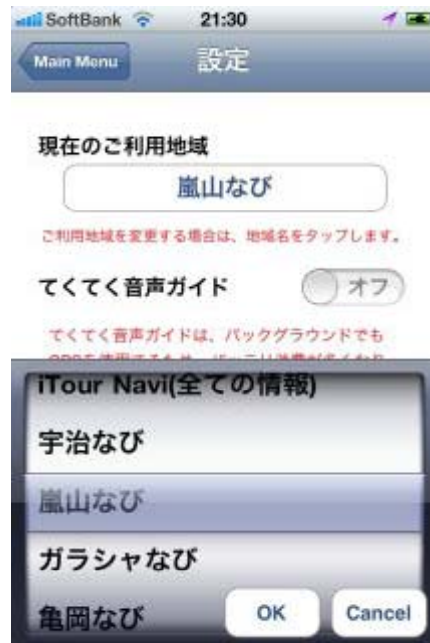
（桜もち おうす付き 600円）（食堂）うどん・そば・丼物・定食時に、嵯峨どうふを使った“とうふ定食”が人気（1800円）

情報提供 yasuko3118

移動支援サービス内容（10）

「ご当地」の設定

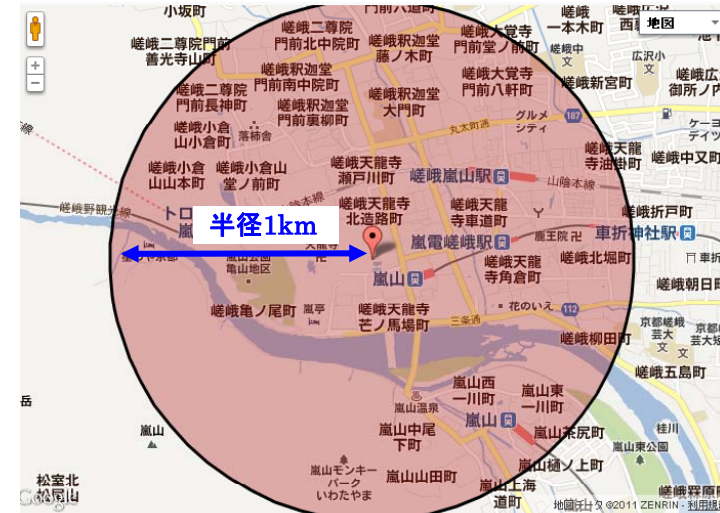
- 設定画面で「ご当地」を選択します。



移動支援サービス内容（11） 「ご当地」サービス提供エリア例



嵐山なび提供エリア



嵐山花灯路なび提供エリア



宇治なび提供エリア

実施概要について

- 12月19日からiPhone アプリ「ご当地なび」としてリリースし、嵐山、嵐山花灯路、宇治を対象エリアとして、現在も継続的なサービス提供を行っている。

京都新聞掲載記事

iPhoneで4カ国語観光案内

「宇治なび」アプリ登場

バリアフリーの情報も

宇治市観光協会が、「宇治なび」のサービス提供地を安心して歩けるようにと、府立宇治公園(中の島)を7日から始めた。衛星利用測位システム(GPS)を活用し、利用者がいる場所に応じた情報が音声で流れ、

観光地を安心して歩いて楽しめるという。京都府内の観光団体などでつくる京都フラワーツーリズム推進協議会が配信するアプリ



宇治公園周辺のバリアフリー情報などを画面や音声で表示する「宇治なび」

「ご当地なび」の第1弾で、近く京都市の嵐山も加わるという。

宇治公園周辺の観光道路約4キロで、階段や坂道、車いす対応トイレなどのバリアフリー情報のほか、見ごろの花やイベント、土産物店など観光情報を写真を交え案内する。日本語の文字情報に加え、同じ内容を英語、中国語、ハングル、日本語の音声でも提供する。

宇治観光ボランティアガイドやタクシー会社などの登録会員が、見ごろの花やお勧め情報を発信する。

当面はiPhone(アイフォーン)のみの対応で今後、基本ソフト(OS)「アンドロイド」搭載の端末でも利用可能になるという。

7日からアプリについてアンケートを実施、回答者先着100人に源氏物語クリアファイルをプレゼントする。問い合わせは宇治市観光協会 ☎0774(23)3334。

(今口規子)

実施結果について（アンケート回答1）



実施結果について（アンケート回答2）

●今後追加して欲しい機能や改善点があれば自由にお書きください

- ・情報もっと増やして欲しい!
- ・オープニング終わったらインデックスになるのかなと思って待ってしまったのでアレは全画面では要らないかも、アプリを開いたらサッと各コンテンツにアクセス出来る方が個人的には使い勝手が良いと思います。他はとても素晴らしいので嵐山も楽しみです！
- ・ダウンロードしたばかりです。これから使ってみます。
- ・推奨ルートの付加。リアルタイムの駐車場情報。店舗からのクーポン。観光客が作る口コミ掲示板。土産情報。自由に投稿出来るようにして欲しい。
- ・もう少し使い方がシンプルであればより使いやすい。せっかく素晴らしいものなので、今後も情報量を増やして欲しい。
- ・渋滞情報をGooglemap上で表示して貰いたい。駐車場情報をリアルタイムで表示して貰いたい
鉄道バスの時刻も表示して貰いたい。アンケートの項目が多い
- ・コンテンツが有名なところだけでなく、もっと小さな神社などもあれば助かります。
- ・案内がずれているところがあったが、詳細、丁寧な内容ですね。
もう少し使いやすければいいと感じました。
- ・使い方を理解するのに時間がかかった。使い慣れたら便利と思う。
- ・近くの山の案内なども入れてほしい
- ・バリアフリー情報で食事やトイレなど既存の状態から、より使い易くなるように閲覧した人の様々なコメントを載せるようにしてみてもどうでしょうか?w
- ・音声ナビがすごい。まだ外出先では使ったことがないので、ぜひ使ってみたい。
- ・全国的にエリアが広がり、障がい者以外にも使えて地域の活性化に繋がれば好い。

事業全体の成果について

●ICTの活用による効果、課題

成果1	歩行空間ネットワークデータの活用効果を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・【測量】→【バリアー情報の抽出】→【編集】→【音声ガイド】という工程の確立 ・バリアー情報の編集をルール化 → 把握しやすい音声ガイドの実現 ・バリアー情報のアイコン作成 ・編集ツールの構築 で、「編集力」を加えることでより効果的な歩行支援を実現した。
成果2	スマート音声ガイド	<ul style="list-style-type: none"> ・iPhone/iPad端末を利用してGPSで位置特定をおこなう規模の大きな位置情報サービスシステムを構築 ・対象情報により検出距離を可変にした 直前認識: 階段や傾斜などは10m、 事前認識: トイレは50m ・検出後に非検出の不感エリアを設け誤作動と感じられるような音声ガイドを排除した ・バリアー情報を把握しやすい音声ガイド(編集ルールによる効果) ・音声ガイド直前にジングル(短いサウンド)を挿入し音声ガイドを優しいものにしたなどにより、ハンズフリーで利用できるスマートな音声ガイドを実現した。
成果3	音声ガイドのバリエーション	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアー情報、観光ガイド、駅到着ガイドを提供 ・それぞれで検出距離を可変にした バリアー情報: 10m、50m、観光情報: 30m、駅到着情報: 高速鉄道: JR500m 低速鉄道: 嵐電200m ・それぞれに対応したジングルを用意 などにより多くの方々に身近に感じ親しんでもらえるようにした。
成果4	防災情報でナビゲーション	<ul style="list-style-type: none"> ・リアルタイムの防災情報をもとにして経路案内を提供 天ヶ瀬ダム放水量による宇治公園立ち入り禁止情報の提供と迂回ルート案内で、従来から観光客に立ち入り禁止情報を公開できていないという宇治観光の懸案事項を解決した。
成果5	ワンアプリ・マルチエリアサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・1つのアプリで複数エリアのサービスを実現 クラウド化とワンアプリ化を推し進め、「宇治なび」「嵐山なび」「嵐山花灯路なび」と複数地域のサービスを実現 ・各地域ごとに独立した運用が行える サービスエリアの設定を自由に設定できる(: エリアの中心と半径の任意設定化) コンテンツサービスメニューの可変化 ・鮮度の見える化 表紙、メインメニュー画像、コンテンツメニューなどをコンテンツの鮮度が感じられるようにした などにより、今後、水平展開が容易にできるようにした。
課題1	編集力の向上	編集ルールの改善、編集ツールの改善強化が必要
課題2	多言語対応	中国語、韓国語、英語の自動翻訳機能の組み込みが必要
課題3	利用ユーザーの拡大	SNSとの強固な結合をはかり、クチコミ情報を拡散させることが必要

事業継続に向けた今後の方針及び課題等について

●協議会等の実施体制の維持についての方針

- ・協議会は継続的に活動をおこなう。

●システムの開発、位置特定技術の設置・維持管理等に関する今後の方針、課題等について

・方針

iPhoneアプリ「ご当地なび」として継続的にサービスを行なう。

・課題

- －道路バリアー情報の編集力の強化
- －多言語への対応
- －SNSとの強化な結合をおこない利用ユーザの拡大を図り、情報発信者への誘導を行いインセンティブを高める必要がある。

・対策

- －他エリアで道路バリアー情報を作成し、編集力の向上をはかる。
- －facebookと強固な結合をおこなう。
クチコミの拡散による情報伝搬で情報発信者へユーザを誘導し、
情報発信者のインセンティブを高める。
- －英語以外に韓国語、簡体中文、繁体中文のサポート

他地域への水平展開について

●容易に全国展開が可能

- ・本システムは、クラウドとワンアプリシステムになっており、他地域への展開が容易にできる。
- ・コンテンツ制作が簡単
道路バリアー情報やトイレ情報などは、誰でも簡単に作成できる。
- ・地域の多くの人を巻き込んで作成可能
作成者名をアピールできるので、制作モチベーションの向上やコンテンツの品質を継続的に担保できる。

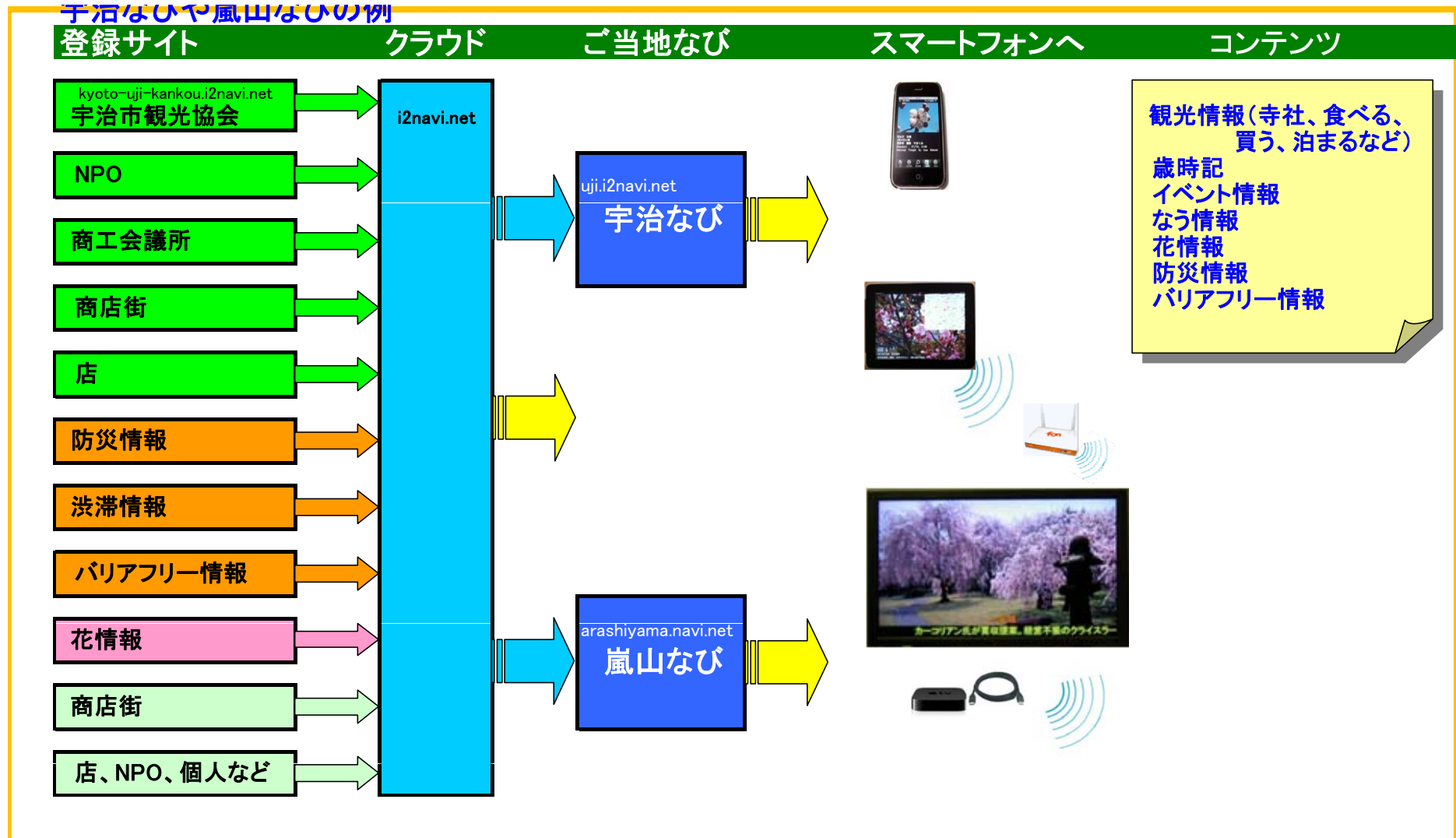
事業実施にあたり特に工夫した点（1）

●人を活かすプラットフォーム

地域の人も参加して両輪で展開！



●地域の多くの人を巻き込んだプラットホームシステム



事業実施にあたり特に工夫した点（2）

●継続的に情報発信ができる仕組み

コンテンツの制作を地域の人を巻き込んで持続的にコンテンツ発信が可能なプラットフォームを実現。

●鮮度の見える化

アプリのトップページの画像やメニューの配列を鮮度順でダイナミックに日替わり更新し利用者に鮮度の高い観光情報をアピール。

●生産者の顔の見える化

野菜、米など農作物をどこの誰が作っているのかを表示し消費者が安心して購入するという流れが大きくなってきているが、これとデジタルコンテンツも同じ。

情報作成者の名前、電話番号、撮影日などを掲載し、コンテンツの質の向上と相互信頼度の向上。

●ソーシャルでの参加

コンテンツ作成者に対して、各自にそれぞれ専用のコンテンツ作成用WEBシステムを提供、さらにコンテンツを記名式とすることで利用者からのネットへの引用、予約などの実需などのフィードバックが返ってくることが継続的な情報発信の大きなモチベーション。

持続的なコンテンツ制作のために、単なるボランティアの参加ではなく、コンテンツ発信者とWin-Winの絆によって『地域の人』を巻き込むことを実現。

事業実施にあたり特に工夫した点（3） バリアー情報の編集

●道路バリアー情報の作成例：完成したコンテンツ

道路バリアー情報

リンク
■ [ご当地ナビ\(iTour Navi\)](#)

道路バリアー情報

階段

写真 地図



詳細

種別名	階段
案内	階段があります。
インフォ	朝霧橋への階段。スロープがないため車椅子での通行は不可。
情報提供	pasco

空間ネットワークデータからGPS情報、種別を導出。
写真や説明内容は現地取材より。

●道路バリアー情報の作成例：編集画面

●入力(テンプレート画面)

株式会社バスコヘリンク 道路バリアー

リンク
■ ご当地ナビ(iTour NAVI)

道路バリアー

▼ 写真



[画像を削除する](#)

▼ 場所を選んで下さい



地図

Google 地図データ ©2012 ZENRIN - 利用規約



Google 地図データ ©2012 ZENRIN - 利用規約

▼ 必須の情報

種別名

案内案

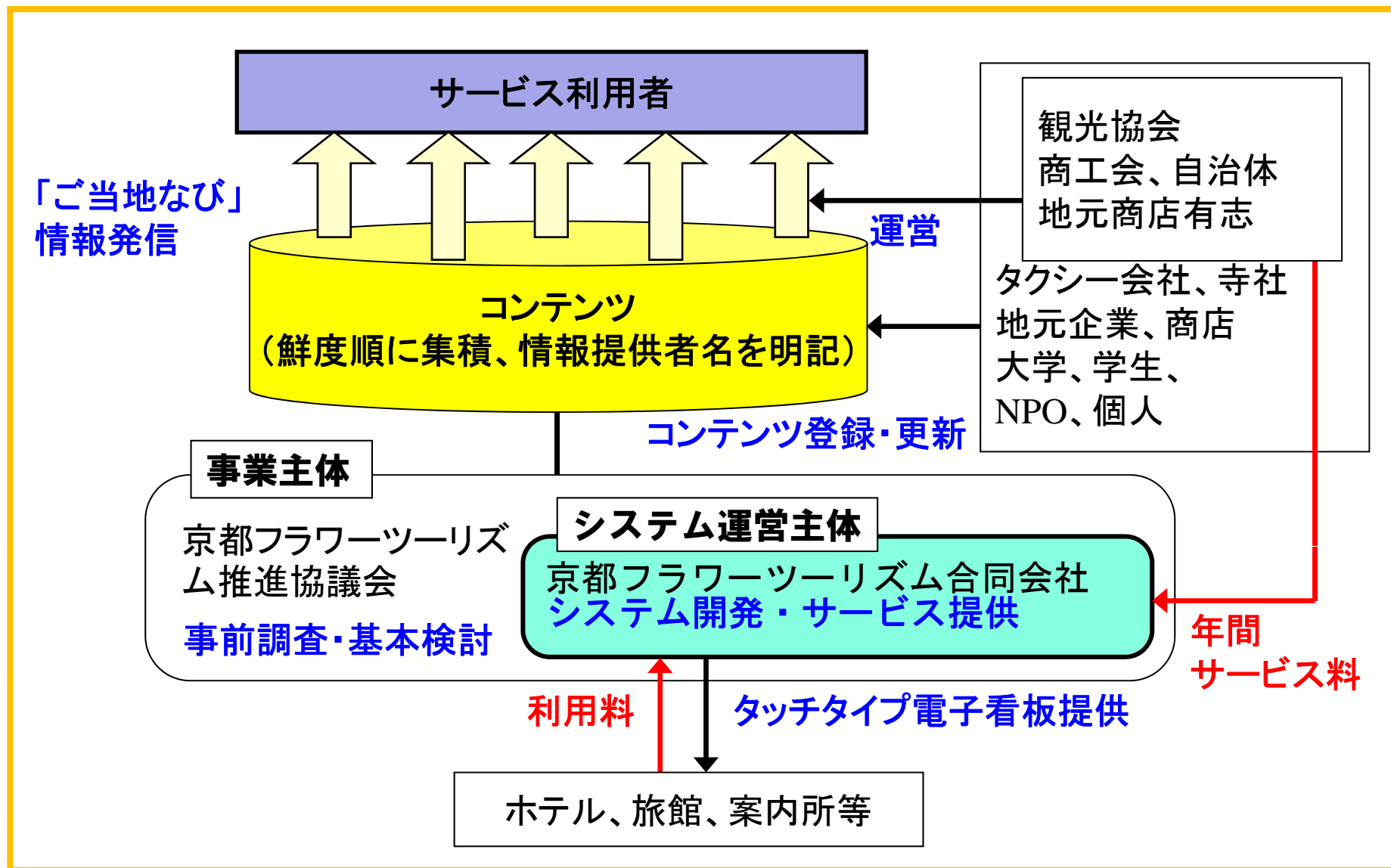
コメント

アプリへの出力

半径 メートル

情報提供者

運営体制と継続的に運営するための工夫（４）



ビジネスモデル

●人を活かすプラットフォーム

- ・ご当地化:
クラウドシステムとスマートフォンの連携して狭いエリアでの「なび」を実現
- ・鮮度が高い希少価値
コンテンツを鮮度順に集積、表紙やメニューも鮮度でダイナミックに変化
- ・顔の見える化
コンテンツ提供者名の明記(情報提供者の広報支援、信頼度の向上)

●ビジネスモデル

- ・利用者は無料
- ・情報発信者は無料
- ・「ご当地なび」の運営オーナーは有料
(従来の紙情報で情報発信を行なうコストと比較してはるかに安い費用で鮮度の高い情報発信の運営を実現)

●サービス中

- ・「宇治なび」、「嵐山なび」、「嵐山花灯路なび」